

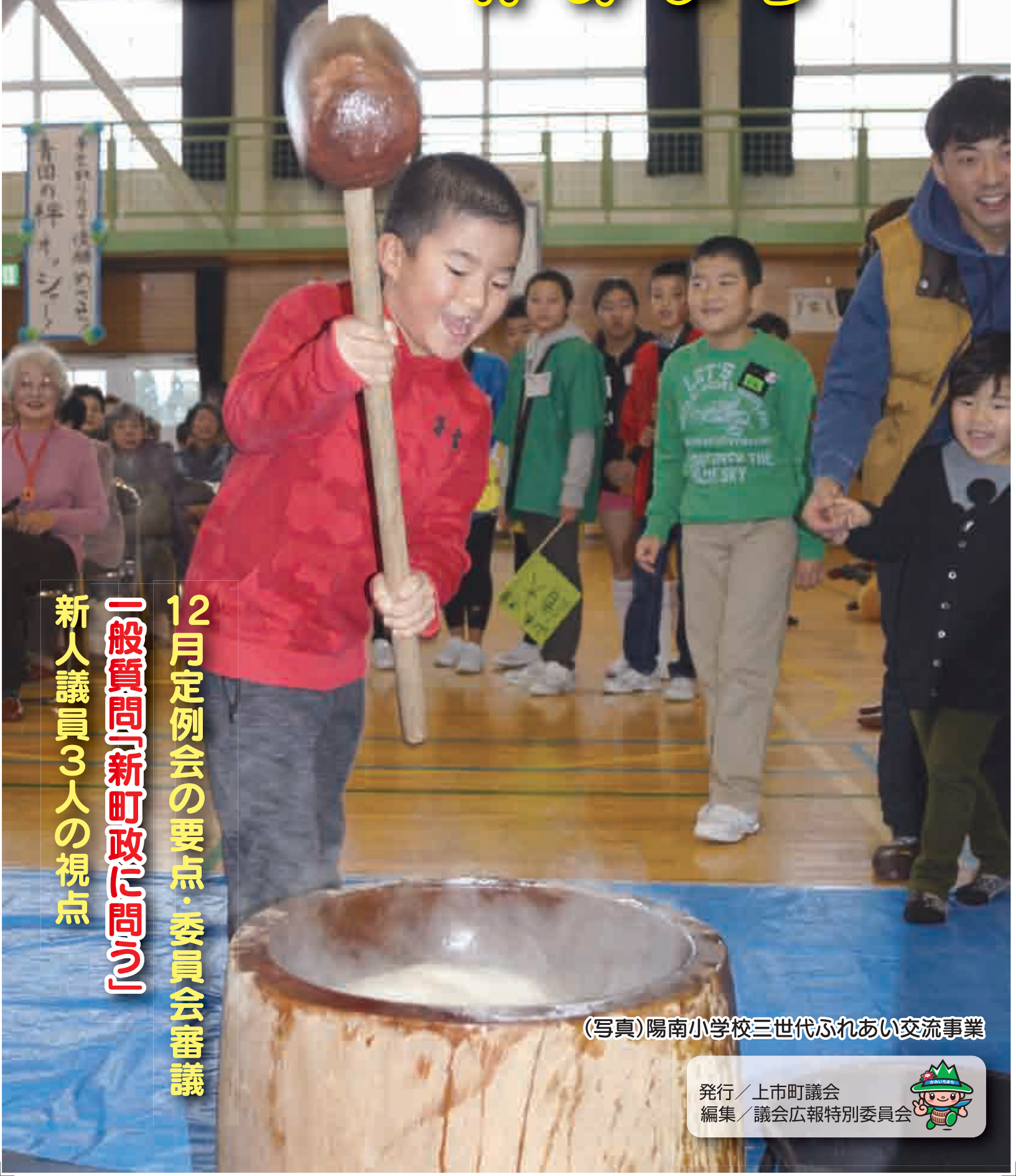
2018

14号

平成30年1月15日

# 議会広報

## かみいち



12月定例会の要点・委員会審議  
一般質問「新町政に問う」  
新人議員3人の視点

(写真)陽南小学校三世代ふれあい交流事業

発行／上市町議会  
編集／議会広報特別委員会



# 新メンバーで十二月議会を開催



上市町議会議長  
松谷 英真

新しい年を迎え、町民の皆様には心よりお慶び申し上げます。

昨年10月に町議会議員選挙が執行され、新人議員3名を含め12名の議員が当選し、新体制でスタートいたしました。

最初の議会である12月議会では、10名の議員が中川新町長に町政一般について質問をいたしました。人口減少に歯止めをかけるための様々な取り組みについて意見が交わされ、平成30年度予算とプロジェクトや、特にデマンド交通の取り組みの推進、農業問題、イノシシ等による鳥獣被害対策、かみいち総合病院の充実などについて質問がされました。

平成33年完成予定のスマートインターは、人や物の動きが活発になり、大きな経済効果の波及と災害時に大きな役割を果たします。企業誘致の更なる取り組みや道の駅などの設置、ビジネスホテルの誘致などは、観光振興と経済効果を進める起爆剤となるように進めなければなりません。

終わりに、安心安全な上市町をめざして、議員一同様々な課題に取り組んでいくことをお約束し、町民各位のご隆盛を祈念しご挨拶いたします。

公職選挙法の規定により、年賀状でのご挨拶ができませんので、ご了解ください。  
上市町議会議員一同

## 平成29年12月定例会の 審議

平成29年度一般会計補正予算  
7700万円を増額し

総額 **100億4902万円**

平成29年12月定例会は、6日から14日までの9日間にわたって開かれ、今年度の一般会計補正予算、下水道事業、後期高齢者医療事業、国民健康保険医療事業、水道事業、病院事業会計の6件。条例の制定一部改正5件、指定管理者の指定3件、以上14件の議案について審議を行い、議案はすべて原案の通り、可決。追加議案の人事案件2件については選任に同意しました。

その他、議員10名が一般質問（P4からP13）に立った。

中学3年生インフルエンザ予防接種費助成	39万円
病院事業補助金など	208万円
カミールの空調設備改修費など	1402万円
観光推進費(日本橋とやま館上市町啓発事業分)	220万円
町営住宅管理費(退去修繕費等)	298万円
林道伊折千石線災害復旧工事費	2202万円

上市町副町長に小竹敏弘氏を選任

固定資産評価審査委員会委員に吉岡秀行氏を選任

# 就任挨拶



上市町副町長

小竹敏弘

新年明けましておめでとございます。

私こと、昨年12月14日、上市町議会平成29年12月定例会においてご同意をいただき、1月1日付けで上市町副町長として勤務させていただきますことになりました。

もとより微力ではありますが、上市町の発展のため、そして町民の皆様の幸せのため、誠意、全力を尽くしてまいります所存であります。

簡単に自己紹介をさせていただきますと、私は昭和40年1月生まれで砺波市の出身であります。昭和62年に富山県職員採用となり、新幹線駅周辺の活性化や県内企業の海外展開支援、首都圏での富山県PR、食品衛生等の様々な業務を経験してまいりました。

上市町には、役場内に県庁と一緒に働いた方や直前の職場に町民の方がいらっしやった等、何かとご縁を感じていたところでした。この度の就任をとてもうれしく思っております。

今後は一日も早く上市町のこと、町民の皆様のことを知り、中川町長の補佐役として精一杯の仕事をしたいと考えております。

結びに、松谷議長をはじめ町議会議員の皆様、町民の皆様のご指導とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。私のご挨拶いたします。

# 委員会の審議

## 総務教育 常任委員会

### 消防団応援の店 上市でも始まる

### 上市消防署

消防団員のなり手不足解消を目的に、上市町内11の店舗で料金の一部を割引する取り組みが始まった。

割引対象者は店舗によって、団員、団員の家族、団員を含むグループとなっている。



消防団応援の店の表示証

## 企画課

富山広域連携中枢都市圏の目的は、都市機能の集積が根本である。上市町に住み続けながら、富山市の一部サービスが受けられるようになる。町の利点が見える形にしたい。

## 教育委員会

富山健康科学専門学校のトレーニングジムを利用する健康サポート事業は、当初30名予定のところ52名に利用いただき盛況である。

補正予算で購入した児童用ヘルメットは、12月中旬に町内全小学校に送付する。

## 【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

## 産業厚生 常任委員会

### 福祉課

障害児通所支援費の実情は元気楽、お茶の間のデイサービスほか、つくし学園、恵光学園、子ども支援センターなどに通所している。

民間保育所整備事業費（相ノ木と音杉）の予算の違いは、防犯カメラは1園のみの違い。

### 町民課

国民健康保険制度が県域化になり、税額が低くなる見込み。上市町は県下平均に比較し医療費の支出が多く、所得が低い事が理由。県下初の運転免許高齢者講習受講費補助金の11月実績は、56名。

### 産業課

馬場島の野営場ほか指定管理者のノスタ代表者は、山岳警備隊や国立登山研究所、登山

指導員を長く勤めた方。

設置後25年程経過している、千石スキー場のリフトを修繕。

フォトロゲイニングには412名参加（町外参加者259名）。

台風21号で林道片地線17m崩落修繕に予算330万余、

### 建設課

危険空家の解体事業補助金実績は、40万円。地域材活用促進事業費補助金の内実は、1立方メートル3万円（町外材は1万円）補助する。

### かみいち総合病院

外科の常勤医師が不在になる。現在、火曜午後1コマを1月から週3コマ、4月から常勤化に向けて関係機関にお願いしている。

## 【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

一般質問

# 高齢者世帯への カメラ付インターホン設置を



松本 寛 議員

議員 高齢者には外へ出たがらず、地域コミュニケーションへの参加をためらう人が一定数いると思う。その原因として、望まない来訪者の存在がある。不要な来訪者対応への徒労感が、玄関へ行くことそれ自体への嫌悪感となり、ついには外出しなくなる、と考えている。



議 的になる一助となる、と期待している。

そ そこで質問だが、町内会や自治体に、高齢者層がどれだけ活発に参加しているのかがわかるデータはあるか。

福祉課長 今年度スタートした第3期上市町地域福祉計画策定のアンケートで、自治会や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加している高齢者は29・1%であった。

議員 単身高齢者世帯にこそカメラ付インターホンは有効だと考えている。そこで上市町の単身高齢者世帯数の最新値を確認したい。

福祉課長 10月1日現在の住民基本台帳によると、65歳以上の単身高齢者世帯数は1,267世帯である。

議員 新築やリフォームの時にカメラ付インターホンを付けることは、一般化していると思う。そこで私はリフォームに注目した。上市町には、高齢者や重度障害者向けに「住環境改善」を目的としたリフォーム支援をした実績がある。この「住環境改善」の観点を「防犯」および「地域コミュニケーション」活性化の糸口」の両面から拡大し、カメラ付インターホン導入も支援対象に含めることは可能か。

福祉課長 高齢者や重度



ご相談いただきたいと思う。

いずれにしても、ひとり暮らしの高齢者や障害者を対象とした住宅環境の整備やサービスについては、今後ともきめ細かく対応したいと考えているので、ご理解頂くようお願いしたい。

障害者への住宅改修助成制度としては、介護保険法に基づく居宅介護住宅改修費の支給や、在宅重度障害者住宅改善事業補助金がある。この中で、介護保険制度の居宅介護住宅改修費では、カメラ付きインターホン設置等にかかる経費は対象とならないが、重度障害者を対象とした在宅障害者住宅改善の補助金については、その障害に適應するのための改善工事と認められれば対象となるので、



酒井 桂之 議員

## 限られた財源の効率的な 30年度の予算編成に努めよ

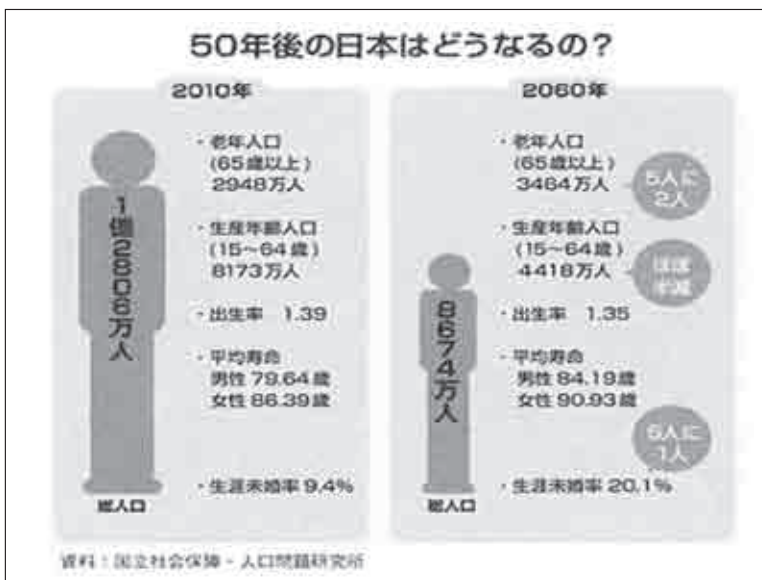
町長 ①上市スマートイン  
ターチェンジの用地の買  
収を行い、工事に着手す  
る②町道法音寺・館線と  
交差する環状交差点にラ  
ウンドアバウトの整備を  
図る③デマンドバス等の  
導入も視野に入れ、町営  
バス路線の再編に調査・  
検討を図る④森林セラピ  
ーガイドの育成とフォト  
ロゲイニング大会を実施  
する⑤妊産婦医療費助成  
の拡充、第3子の保育料  
を完全無償化を図る⑥上  
市中央小学校及び上市中  
学校のグラウンドの整備を  
平成31年度以後に、黒川

町長 前年度当初予算額  
の範囲内に抑え、重要施  
策に創意と工夫をこらし  
た予算編成に努める。  
議員 **主なプロジェクト  
事業をどのように考えて  
いるか。**

は **平成30年度の予算編成**

議員 **平成30年度の予算  
編成をどのようにするの  
か。**

上山墓跡の保存整備に取  
り組む⑦がん検診の受診  
体制及び助成の拡大で早  
期発見・治療を図る⑧森  
尻処理区から、中新川公  
共下水道への管渠の布設  
工事着手などに取り組  
む。



は **中川新町長の行政運営**

議員 **高齢化、人口減対  
策をどう取り組んでいく  
のか。**

町長 12月1日現在、高  
齢化率は34.7%、総人  
口は20,976人とな  
り、高齢化にがん対策の  
さらなる推進、『共助』  
の仕組みの検討、コミュ

町長 かみいち総合病院  
の経営改善は、黒字とな  
るよう医師の確保や病床  
利用率の向上に努め、地  
域への訪問診療、訪問看  
護などの医療支援を充実  
し、回復期リハビリテー  
ション病棟の機能、地域  
包括ケア病床機能を提供  
する。

小学校の小規模校の運  
営は、地域住民の交流や  
防災の拠点となり、小規  
模校であっても少しでも  
魅力あふれる学校となる  
よう、方策を検討すると

ニティブスの見直しに着  
手する。人口減対策に  
「特効薬」はなく、子育  
て環境の改善、教育の充  
実、企業誘致や創業支援  
などの雇用創出、道路を  
はじめとするインフラ整  
備など町の魅力を高める  
施策の健全財政に努め、  
地道に粘り強く取り組ん  
でいく。

議員 **かみいち総合病院  
の経営改善、小学校の小  
規模校の運営、子育て支  
援をどう進めていくの  
か。**

ともに、全町域からの通  
学が可能であることを伝  
えたい。

子育て支援は、子ども  
医療費の助成は、医療機  
関での窓口負担の無い、  
現物給付化による助成を  
中学3年生までに拡大、  
所得制限を無くし、すべ  
ての乳幼児から妊産婦を  
助成対象とする。第3子  
の保育料を完全無償化に  
するなど子供の健康保  
持、増進及び子育て世帯  
への経済的な負担の軽減  
に取り組んでいく。



一般質問

# かみいち総合病院の対応は まちづくり計画の見直しを



伊井 勇 治 議員



かみいち総合病院南側駐車場

議員 かみいち総合病院の産婦人科・小児科の対応は。患者さんなどの駐車場不足の対応は。病院事務局長 住民が安全で安心な妊娠・出産・子育てを行うため産婦人科・小児科を維持する必要がある。産婦人科では

待合のプライバシーの保護や小児科では待ち時間をあきないようテレビやビデオを設置し対応している。駐車場不足は、財政面を考慮しつつ病院南側周辺の土地を買収し整備・拡大に取り組む。

議員 民間参加も含めたまちづくりの検討を。上市・音杉地区に公園・広場の整備を官民連携（PPP/PFI）で整備できないか。企画課長 公共施設等総合計画を勘案した新たな公共施設への投資は難しい。

町民参加型のPPP/PFI手法の検討は先進事例を参考に調査・検討していく。

議員 都市計画事業における決定事項を見直し土地利用計画を促進せよ。安心・安全に歩ける歩道空間の整備は。

建設課長 上市町が定めるマスタープランは今年度で策定できる。歩道空間など個別整備の都市計画決定事項の見直しは次年度以降で検討していく。

議員 雨水排水対策のため宅地造成における指導要綱の見直しを行い関係各課と共有せよ。

建設課長 宅地造成は都市計画法に基づく開発行為等により指導要綱を定め指導している。近年のゲリラ豪雨などで被害もでていることから見直しを関係各課と共有し検討する。

議員 企業の支援策を拡大し企業誘致に努めよ。支援策等を広く情報発信せよ。

産業課長 現在、一定規模の条件を満たす企業に土地や建物などの設備投資に補助をしている。工業団地等はあらかじめ整備せず、進出予定企業の要望を伺いながら支援を行う方針であり、広く情報発信していく。

また、新たな支援策は県内市町村の動向を調査し検討していく。





酒井恒雄 議員

# 児童生徒にも、企業の見学会 資源価値の再認識になる様に

**議員 中川町長は既に町民の幸せを願う強い信念を持って働いておられるが、町政の意気込みを伺う。最初に取り組み施策、どんな上市町を目指すのか。**

**町長** 私は、「あなたに笑顔届けたい健康家族と安全、安心のまちづくりに、健康の大切さ、健康づくりへの取り組みを強く訴えてきたところであり、子育て環境の改善に係る施策の改善として子供、妊産婦の医療費助成について平成30年4月から医療機関での窓口負担のない自己負担の現物給付、子供の対象を中学生まで拡大する。

併せて高校受験を控える中学3年生のインフルエンザ予防接種費用の助成。  
**議員 新年度、予算規模、財源について、町民に夢と、希望、生きがいを持つる予算編成になる様に。**

**町長** 町税、地方交付税及び、国、県支出金等確

保に努め、助成金等新規財源や有利な財源の確保に努め、昨年度同程度98億円台で予算編成を考えている。

**議員 町長の公約にあるデマンドバス、タクシーについて伺う。**

**町長** 町民の足として町営バスの重要性は更に増すものと認識している。町民にとって最適な公共交通機関として現状の状況整理、検証、課題の調査を行い、方向性について検討を進めたい。

**議員 飛躍する地元企業の見学会について、児童、生徒は今日まで9才、14才の挑戦で就労体験、挨拶等々自分を磨く力になっていることは、人間形成に繋がる大変重要な事であり、地場産業で製造されている、例えば医薬品など児童生徒に目で見て廻る体験をさせてはいかがか。**

**教育長** 小学校では町内企業を見学する機会は少なく、今後町内の数社の企業において、産業観光

としての受入れを進められていくという事なので児童生徒たちが、地元の産業を知る上で貴重な機会と捉え、地元で根付いた産業や企業について学ぶことを含め検討して参りたい。

**議員 小、中学校給食地場産率向上について、かみいちの日の制定について伺う。**  
**教育長** 地場産食材を安定、継続的に使用していく為、学校給食での地場産野菜等の活用課題について検討し、3年前から11月11日を「かみいち一番いい町、学校給食かみいちの日」と位置づけ、地場産食材に興味を持って頂く為に1週間、上市産食材を活用した献立を提供している。



会食(白萩西部小)



一般質問

# 「住むなら上市」という 声の拡がり必要



議員 確井 憲夫

事業所数の推移（上市町）

事業別	H24年	H28年
卸売・小売業数	254	216
生活関連サービス業数	105	90
宿泊・飲食サービス業数	70	68

家族経営が健在だと、若者は地域に残る

議員 少子化、人口減が進んでいる。このまま進めば地域の未来は語れない。少子化は全国的な問題であり、自治体の責任ではないが、「上市町で生活すれば安心」「住むなら上市」という声の拡がり必要だ。

小規模事業所が後退している

議員 増えるのはコンビニ

二と町外資本の大手スーパーであり、閉店に追い込まれる小規模事業所が増えていく。多くの家族経営だ。家族経営が健在だと、若者は地域に残り地域の活性化につながる。小規模事業所の支援が必要だ。  
議員 少子化の要因と対策を問う。  
町長 現在、少子化、人口減少は一層進行しており、当町のみならず、全国的な課題と認識している。ご指摘のとおり、大手資本の地方進出による小規模事業所の閉店や農林業の停滞が若者の流出につながり、他にも晩婚化、若年世代の所得の伸び悩み、子育て世代の長時間労働、女性の厳しい就労継続などが少子化、人口減少の要因となっていると考えられる。  
対策は子ども・妊産婦の医療費助成の現物給付化や第3子の保育料の完全無料化など子育て環境の改善、企業誘致や創業支援など雇用の創出、道

路などのインフラ整備など、各種施策を総合的に展開する。  
議員 3人以上の子供を出産していただかないと人口が減少する。「3人目の子育て費用は公費でみる」という決断が必要だ。

議員 3人目のお子さんの支援策を問う。  
町長 人口確保の観点から、3人目以降のお子さん産み育てていく世帯への支援を厚くすること

を基本としているが、負担の減免や助成金の交付などを一律で実施するとなると、多額の費用が見込まれ、財源確保が課題となる。国、県の制度、町の財政状況を見据えながら、節度のある持続可能な制度運営を基本として進めたいと考えている。

議員 豊かな環境、豊かな土壌に恵まれた上市町は農業に適した条件を備えている。

元気な農業の再生は、上市町の未来を切り拓く

議員 肝心なことは担い手だ。ストレス社会の中で、「農業で身がたてたい」という若者が増えている。そうした若者の多くは環境保全型農業を希望している。上市町にも環境保全型農業をめざして都会から移住した若者や環境保全型農業に細々と取り組む若者が増えている。

議員 環境保全型農業の促進を問う。

町長 環境にやさしい農産物の生産体制を構築するため、土づくりを基本とした持続性の高い農業生産方式などの環境保全に配慮した農業を推進するエコファーマーの普及拡大を図る。新規就農者に限らず環境保全型農業に意欲的に取り組もうという農業者の方々がいらっしやれば、積極的に支援する。生産者、消費者、農業団体等における相互理解を図ることが重要であり、有機農業の実態を整理し、関係機関と連携し、必要な情報提供に努めてまいりたい。

有機農業の実施面積（H28年度）

富山市	89 ha
高岡市	0.9 ha
魚津市	1.2 ha
氷見市	3.9 ha
滑川市	9.4 ha
砺波市	7.5 ha
小矢部市	4.9 ha
南砺市	22.7 ha
立山町	1.6 ha
入善町	2.0 ha
朝日町	1.2 ha
環境保全型農業交付金資料から	



勝戸 謙 議員

# まちの未来創造モデル事業とは 富山米新品種 富富富の作付けは

**地域の活性化・定住人口の拡大を目指すモデル事業**

**議員 事業内容について、説明を願う。**

**産業課長** 富山県の未来創造モデル事業「まちの未来創造モデル事業」は、町の観光地である大岩地区を交流の拠点と位置づけ、地域住民等と町が策定した各種事業を展開することで、交流人口の拡大による地域活性化、定住人口の増大を図ろうとするものであり、29年度はこの大岩地区がモデル



◀皆さんを迎える大岩

地域として富山県に選定していただけるよう、まちづくり計画の基礎資料を作成し準備を進めているところで、現状では、モデル地域の選定は30年度以降となる見込み。

**議員 今後のまちづくり計画の取り組みは。**

**産業課長** モデル地域選定に必要な書類が、まちづくりの土台となることから、現在、大岩地区の方々から意見を伺い、事業の骨格を構築中だが、熟度を高めるには専門家の指導も必要と感じており、次年度に向け必要な予算確保に取り組むこと



▶門前通り

としている。

**議員 事業計画は。**

**産業課長** 平成30年度に県からモデル地域の選定を受け、まちづくり計画の採択となれば、平成31年度から3年間が補助事業期間。

**議員 最後に組織について伺う。**

**産業課長** 大岩町内会や大岩観光開発など地域の方々を中心とし、更に外部団体の町観光協会や商工会など関係機関を交えた組織を立ち上げ、基本となるまちづくり計画の策定段階から県の助言をいただき進めることとしている。

このモデル事業は、先進的な取り組みを関係者が一丸となって進め、地域の活性化となる事業であることが、選択の基準と考えており、地元の方々と観光、まちづくりに関わる方々の意見を取りまとめ、実現可能な計画書を策定し、有益な事業となるよう進めていく。

**議員 将来的展望に沿った事業であり、今後のまちづくりの模範となると考えるので、是非確実な推進を願う。**

## 富山米新品種富富富 平成30年作付け面積

**議員 来年度より本格作付けになる富富富の栽培面積は。**

**産業課長** 富富富については、登熟期間が高温でも白未熟粒が少なく、草丈が短く倒伏にくい、

いもち病に強く農薬の使用量が節約できる3つの優れた生育特性をもつ新品種である。アールプス農協管内では、富富富の作付け希望は、現在80ha受けており、そのう



▲刃が見下ろす豊かな田んぼ

ち当町分は、20haとなっている。作付け面積拡大に向けて、当初の生産者登録要件を一部緩和し、関係機関と調整を行い、現在登録のある方には更に面積拡大をお願いしており、また大規模農家や意欲的な農家等へ訪問し、新規登録に繋がるよう説明を行っている。

**議員 様々な課題をクリアしつつ、引き続き規模拡大に、努めて頂きたい。**

一般質問

# 町営バスの方向性H30検討へ 第2子以降の保育料無料化を



堀田喜久男 議員

### コミュニティバス運行

議員 利便性の高い公共交通が強く求められている。もっとターゲットを絞った交通システムの刷新を図るべきと考える。「デマンドバス等導入」に向けての検討時期、実現時期をどう考える。  
町長 限られた財源の中



参考事例「あさひまちバス」

で、町内一円を網羅したコース取りに、一長一短があるのではないかと考

え、デマンドバス・タクシーの実現性、収支などの検討に着手したい。現在のバス運行状況の検証や課題整理、利用料、収支バランスも踏まえた今後の方向性の検討を次年度より行いたい。デマンドバス等の導入に関しては、その検討結果から得られる。

議員 社会実験明け60カ月連続前年同月超え「あさひまちバス」(現富山大学教授提案)の好事例を紹介する。参考にしては如何か。

町長 現在、第2子の要保護等世帯や町民税非課税世帯は無料となっている。また、2子同時入所の場合、第2子は半額。

議員 第2子以降、無条件で保育料無料化を求めたい。

議員 第2子以降、無条件で保育料無料化を求めたい。

企画課長 富山大学に今春、都市・交通デザイン学科が創設。県内に専門学科ができる事は大変心強く、必要に応じて、富山大学との連携も検討してまいりたい。一定規模の支出が伴うが、県内先進事例や専門的知

識の有効活用、システム変更に伴う収支バランスを踏まえ、町民にとってより良い町営バスを目指し、早期に検討してまいりたい。

議員 限られた財源の中で、大変な額である事は百も承知。少子化対策は待たなし。町の将来展望を考えれば、やる時は今。今一度考えて頂きたい。

議員 スマートインターチェンジ設置計画の進捗状況は。建設課長 詳細設計はほぼ完成。10月から地元と最終協議をしている。全体計画は、地権者と協議が整い次第、公開したい。

議員 周辺整備に関する先進地調査は。企画課長 企業誘致は継続して交渉中。宿泊施設は、前向きな回答が得られていない。本線直結型SICを全国的に調査したが、地方部における道の駅、宿泊施設の隣接事例は少ない状況。今後は、継続して企業誘致交渉を進めるほか、高速バス停の設置に関する交渉を進めていく。



4人の子育て真っ最中

### 上市SIC進捗状況

議員 スマートインターチェンジ設置計画の進捗状況は。建設課長 詳細設計はほぼ完成。10月から地元と最終協議をしている。全体計画は、地権者と協議が整い次第、公開したい。

SIC接続道路、町中心部アクセス道路整備は、徐々に進んでいるものと考えている。

議員 周辺整備に関する先進地調査は。企画課長 企業誘致は継続して交渉中。宿泊施設は、前向きな回答が得られていない。本線直結型SICを全国的に調査したが、地方部における道の駅、宿泊施設の隣接事例は少ない状況。

今後は、継続して企業誘致交渉を進めるほか、高速バス停の設置に関する交渉を進めていく。



伊東 俊治 議員

# 総務省の情報誌 地方のかがやき 「富山県上市町」が紹介されました

議員 「上市町エコツーリズム推進全体構想」は、産業課長

平成23年7月の「観光元年キックオフ宣言」以降、ないものね

だりをせず、今ある町の観光資源を活かした観光

振興「エコツーリズム」の推進に取り組み、交流人

口拡大のための施策を展開している。今年2月に

は上市まちのわ推進協議会がまとめた「上市町エ

コツーリズム推進全体構想」が環境省をはじめ、

関係省庁から認定され、全国12の推進地域の1つ

となる。

エコツーリズムの取組みとして、森林セラピー

基地の活用があります。眼目、大岩、馬場島の3

地区のエリアについて、その癒し効果が科学的デ

ータにより実証され森林セラピー基地認定を受け

た。現在は、基地に登録する森林セラピーガイド

の育成を行うとともに、基地を活用した森林セラ

ピーツアーの企画・実施を行っている。

現状としては、町観光協会や今年4月に女性ガイドグループが主体となり生まれたガイドチーム「トコトコ」など、民間企業・団体が森林セラピーを含むエコツアーを実施しており、昨年度は約500名、今年度は12月7日現在、約270名の利用があり、その内、観光協会が実施している大岩山日石寺での滝行・写仏ツアーについては、昨年度の94名を上回る111名の参加があった。町観光協会では、キャンセル待ちになるほどの人気ツアーもあることから「魅力ある資源が存在する地域」との自信を持ち、次なるツアー開発に取り組んでいる。

更に、ガイドチーム「トコトコ」でも、11月より2回土曜日に町民向けにアレンジした短時間の体験ガイドツアーも実施しており、今後の活動に期待している。町としては引き続き、町内外への積極的な情報

発信を行い、自然や歴史などの資源を活かす観光エコツーリズムを推進し、更なる誘客につなげてまいりたいと考えている。

議員 町の資源を活用し、新たな名産品の開発は。

産業課長 町では、平成24年12月より、上市町雇用創造協議会が、特産品を活用した加工品の開発

に取り組み、ブレンドティーや地元野菜のピクルスなどの成果物を完成させ平成27年3月の協議会の事業終了に伴い、商品化を希望する事業者に事業を引き継ぎ、開発が進められている。議員質問のジビエ料理についても、協議会において、いのしし肉を使ったカレーの商品化企画が行われ、その後、セミナー受講生

がレシピを引継いで起業し、「剣スパイシージビエカレー」として商品化され、現在、上市町を代表する土産として、つるぎの味蔵をはじめとする町内外の土産取扱店で販売している。町としては、販路拡大となるよう商品のPRに努めて参りたい。

## 総務省

9月号  
2017 September | Vol.201



平成29年版  
情報通信白書が  
公表されました

【富山県】  
上市町



出典：総務省広報誌2017年9月号

一般質問

# オンデマンド交通は実現可能か 丸山総合公園に気配り標識を



寺西正司 議員

## オンデマンド交通

議員 今回、中川町長の提案理由説明の中に「デマンドバス・タクシーの実現性、収支などの検討に着手したい」と発言されたことを受け、住民の皆様から要望の多いオンデマンド交通に挑戦して欲しいと願った。

上市にとって望ましい公共交通ネットワークワークだ。

自動運転・コネクテッドカーなどの先進技術が、未来に待ち受けている。携帯電話で予約すれば、最先端車両に乗車できる夢の様なシステムだ。交通空白地域が解消できるかもしれない。

実現には長い年月を要すると思われる。費用面や運用面で大きな壁に阻まれている。

ここでの第一歩としては、地域や利用者の方々  
の意見を広く伺う仕組み  
づくりに取り組んで頂く  
のはどうか。



## 企画課長

上市町の町営バスにおいては、「上市町地域公共交通会議」での協議結果に基づき町営バスの路線変更等を実施してきている。また、町民の意見を伺う仕組みは、従来、各町内会の区長を通じて地区の要望を受け付け、可能な範囲で対応しているが、議員ご質問の「広く伺う仕組みづくり」については、従前の方策によらない意見聴取で、より多くの方に満足いただく町営バスを目指す為に必要なことだと

と考える。

町としては、利便性向上はもとより、町民参加によるバス利用者意識の向上も肝要だと考えているので、町民の声を広く伺う仕組みづくりやバス利用の促進策について、検討する。

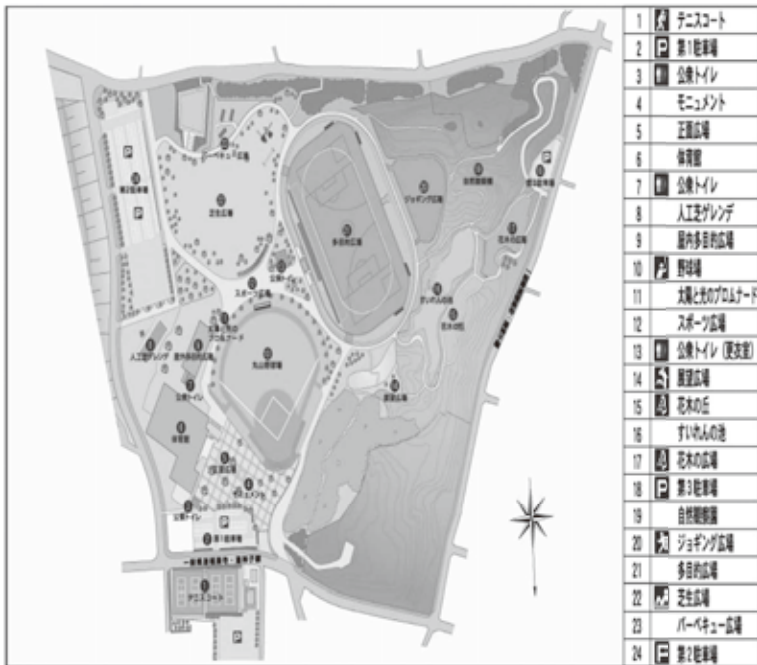
## 丸山総合公園

議員 同公園は規模が大きい大会の開催が可能なスポーツ施設という点もあり、県内外から大型バスで団体のお客様が来訪される。

土地勘のない他府県の大型車両におかれては、ナビゲーションのミス等により、細い道に迷い込んで渋滞を惹起する場面があった。私たちがすれば、他

府県の方々にも、同施設にスムーズに訪れていただいで、トラブルなく気持ちよく安全に使用していただく事が上市町のPRになると考える。さらに、将来、わが町での宿泊施設を拡充できた折、優良な観光のお客様として期待できるとの思いより、大型バス用の誘導標識を設置してはどうか。

建設課長 標識設置については、簡易なものを含めて、対応を検討していく。しかしながら、原則として、当該施設での大型バスの駐車場利用・案内などの周知及び誘導については、イベント開催者に行って頂くように啓蒙していきたい。





成川 友仁 議員

# 持続可能なまちづくりへ、 指針を掲げて施策を進めよ。



第3回姫たちのフェスティバルの様子

議員 持続可能なまちづくりをテーマに伺う。

持続可能な開発目標

国際視点で施策を  
理念・趣旨を尊重

議員 国連で採択され国内でも取り組みが進む「持続可能な開発目標」を踏まえた指針を掲げ、施策を進めては。

町長 第7次上市町総合計画（後期基本計画）に基づき、当該開発目標の理念・趣旨を意識しつつ町政を推進する。

鳥獣害対策と農業

中長期的な展望を  
計画に基づき対策

議員 対策は地理的な広がりや時間的な幅が必要。生態系の維持等の環境面にも着目を。

産業課長 法律に基づき、3年ごとに上市町鳥獣被害防止計画を策定。計画を具体化する諸事業を進めている。

環境省主催の「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」の開催を、今後県に働きかけたい。

女性起業の見本市

持続的な展開を  
開催継続へ連携協力

議員 町内外の女性起業家が出店する見本市「姫たちのフェスティバル」がカミールで開催された。継続に向けた方針・方策は。

産業課長 起業塾と見本市をあわせて事業継続できるとの検討を重ねる。商工会や金融機関と連携し、女性起業家グループに一層の参画・協力を求める。

企業誘致と成長産業

立地を促す戦略は  
町に根づく企業応援

議員 成長可能性をもった産業や特色ある企業に着目し、誘致や育成を行うことを期待。

企画課長 近年の経済情勢は変化が速く、不確実性が高い。上市町に根ざ

して頑張る企業との連携を強めたい。



地方自治体でも取り組みが求められる「持続可能な開発目標」(SDGs)

上市駅の価値向上

建築手法等で再生へ  
所有者に情報提供

議員 上市駅をリノベーション（建物の再生）の対象と捉え、価値の向上を図っては。建築・金融・情報技術などの手法を駆使せよ。

企画課長 案内看板や自動扉の設置、観光案内所の外観改装などを行って来た。

まずは所有者（富山地方鉄道およびJアラブス）の意向が大切であり、資金調達や事業化の枠組みにつき情報提供を続ける。

# 追跡レポート

## その後実った議会での提案・要望

### イノシシ<sup>いったん</sup>亥旦停止

平成29年3月議会質問

#### その後

増加するイノシシ対策として、現在も檻や電気柵で農作物被害の防止に努めている。特に剣親自然公園の芝生広場は毎年食い荒らされ、景観保持の為に、イノシシ「亥旦停止」を設置した。侵入防止効果が今後広く応用される事を期待する。



### 上市町観光案内所の改修を

平成28年12月議会質問

#### その後

上市町観光案内所正面の剣岳のラッピングをなくし、オープン化した。リニューアル後は、来客数が増加し、商品の売上も倍増した。



## 視察報告

### 富山地区広域圏事務組合

11月15日豊中市伊丹市クリーンランドごみ焼却施設、16日吹田市資源循環エネルギーセンターを視察しました。目的は、循環型社会構築は市町村の長年の方針であるが、竣工時と比較してごみ処理技術を取り巻く環境が飛躍的に向上している事を踏まえ、当組合としても将来的な更新計画等を策定する際に資するため、両施設を見学した。

両センター共通の取り組みは、①ごみの完全燃焼でダイオキシンの対策を万全に行う。②燃焼エネルギーをボイラで高温高圧の蒸気を発生させ蒸気タービンで発電。電気として再利用。③安心・安全を第一に、排ガス・集じん処理。排水処理し環境対策も充分に。④ごみ処理後の灰は建設資材への利用を図るためスラグ化など、推進を行っていた。

特にごみを扱う施設は汚いとのイメージを一掃するため、設備の裏側をも見学出来るコースを設け、清潔感を出していたのが印象的。

最後に、ごみは出さない。再利用出来る物は、資源として活用し、より住み良い地球環境にして行きたいと感じた視察だった。



←豊中市伊丹市クリーンランド



→吹田市エネルギーセンター

## 産業厚生・総務教育常任委員会現地視察

11月30日、近年増大しているイノシシ被害状況とその対策について視察する。

1、産業課より被害状況、捕獲対策等説明を受ける。

被害金額はH28年206万円に対し、H29年3倍の614万円、捕獲数はH27年29頭、H28年105頭、H29年100頭を超える数になっている。

捕獲については、捕獲檻が有効であり、囲いわなと、箱わなの2種類の説明を受けた。

また、農地に入らないよう侵入防止柵等の設置状況も説明を受けた。H27年45.8km、H28年58km、H29年61.8kmであり、今後の対策として、電気柵の正しい管理の周知徹底、電気柵の対応が困難な山際については、ワイヤーメッシュへ変更するよう案内している。未設置の場所については次年度対応等検討してゆく。

### 2、現地視察

- ①堤谷地内（耐雪型侵入防止柵）
  - ②眼目地内（被害場所）
  - ③松原野地内（囲いわな）
  - ④広野地内（箱わな）
- 以上4カ所について、被害状況と防止対策を視察した。

# 視点 新人議員の声

## 伊井 勇治 議員

### インフラから始める地方創生

上市町では生活に必要なインフラ（公共施設・公益施設）が数多く建設されてきました。これもひとえに諸先輩方の尽力によるものと感謝する次第です。

今後は、これらのインフラを基に活気あふれる上市町を想像するため、まちのグランドデザインを進化するため、まちのグランドデザインを進化する必要があると考えます。

具体的には、安心・安全に歩ける歩道空間、家族が憩える広場、観光資源のネットワーク化による観光客の誘致、企業誘致に必要な土地利用計画、農産物のブランド化などです。

また、これらインフラ整備の手法には、「デザイン」、「作り方」、「使い方」などを町民参加により計画する（埋もれた価値を発掘するため）ことが主流となってきました。地方創生の一助となっています。

議員としての活動はこれからですが、町民の皆さんと共に「活気あふれるまちづくり」のため、自分自身の経験も生かしながら取り組みたいと考えています。



## 寺西 庄司 議員

### 心に抱いている決意

平成29年に、気にかけてきたデータがある。

それは、為替価格と原油価格である。諸外国の政情不安のうねりが、上市町に住む私達の生活に影響しているのだ。この1年間で、原油がジワジワと値上がりして、燃料料金の変動を起し、更に様々な要因を加味して電気料金の値上げも惹起した。

私はこんな時、上市町に置き換えて考える様にしている。

例えばピンチをチャンスにという発想から、LEDのランプに変更して、省エネルギー化で見直してはどうか。

また、自然エネルギーの太陽光による発電で、LED照明で見直してはどうか。

かかる発想の原点にあるのは、『上市を明るくしたい』、『提案力ある議員になりたい』との一念だ。

今回の『視点』に寄せる思いとして、ただただ感謝申し上げる新米議員は、心と心が響きあう「人に優しい人が主役の町づくり」を目標に、健康で楽しく生きる暮らしの実現、ふるさとでいい人生が送れて、地もとに貢献ができ、「生きる喜び」を感じることができ、町づくりを目指す。

そのためには、皆様の声は勿論、小さなつぶやきにも耳を傾け、その願いや要求を正しく捉えて、その意思を忠実に行政に反映していこうと思う。

## 松本 寛 議員

### 世代を繋ぐ町づくり

今期より、新人議員として町政に携わらせていただいております。生まれ育った町へ恩返しをしたい一心での立候補でしたが、実際に一步を踏み出せた今は、町民の皆様のご期待あってこそこのものです。その意味をしっかりと受け止め、政治目線での地域の見識をより深めるべく、慌ただしくも充実の日々を送っております。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。

選挙の中で申した通り、私の強みは、地元で様々なサービスを生業にしてきた「経営者」の経験と、少年柔道の指導で培った「育成者」の目線です。この2つを活かし、私の両親世代に当たる高齢者の方が安心して暮らせ、次世代が将来的に戻りたくなる。世代を繋ぐ町づくりを実現するため、町民の皆様と諸先輩議員らのアドバイスを耳を傾けながら、町のために日々努力をしていきたいと思っております。

議員としてはまだまだ若輩者の私ですが、今まで以上に厳しく、ときどき温かく見守っていただけたら幸いです。改めて、よろしくお願いたします。

# 町民の声 紹介



森 尻  
橋本 和江さん

**議会に期待するところは**  
女性議員がもっと、もっと増えて私たち女性の意見を聞いていただける（子育て、介護の悩み、その他）一般町民も交えての討論会があっても良いのでは……と期待しております。

平成4年に夫の生まれ故郷に家族で帰ってきました。一年後からボランティア活動に関わらせていただき、上市の皆様と交流させていただいたおかげで、あつという間の26年になりました。介護施設、養護施設が整っており、空気が良く、水が美味しく、立山連峰の見える素晴らしい上市で良かったと感じる今日この頃です。現在、森尻にはスパーがなくなってしまうので、車の運転がでさなくなったらどうしようかと考えるようになりました。



大 坪  
水野 敦さん

大阪で社会人生活を始めましたが、子育ては地方でしようと地元に戻り、16年が経ちました。阪神淡路大震災を経験し、耐震や日々の備えの重要性など、肌身で感じたことをもとに地域に貢献できたらという思いで日々の活動を送っています。改めて16年過ごした身の回りに目をやると、自分が通っていた頃は手狭に感じた小学校の校舎は、空き教室のおかげで広々と使え、少子化のメリットを感じる反面、静かになっていくまちなかに寂しい想いがしています。スマートインターやアルプス縦貫など華々しい大きな土木プロジェクトは期待感では目を惹きますが、町を支える若年層を増やすためにも、まずは移住の促進や起業支援などを念頭に空家対策や空地利用を考えて欲しいと思います。どうせ住むならもう少しだけの賑わいと皆さんの笑顔が見たいなあ。

## 議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

### お知らせ

**「声」の募集**  
町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

### 会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。（定例会終了後約2カ月後に更新されます。）  
アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、  
<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>

### 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 勝戸 謙  |
| 副委員長 | 伊井 勇治 |
| 委員   | 松本 寛  |
|      | 堀田喜久男 |
|      | 宝嶋 洋子 |
|      | 酒井 恒雄 |

### 編集後記

議会広報かみいち発行から早や4年が経過した。  
昨年10月町議会の改選が行われ3名の新旧交代となった。11月以降各地の選挙も行われたが、無投票当選の地区が何カ所も有りその是非が新聞・マスコミの議論を醸していた。当町議会は幸いにも、町民の審判を受け、議会を組織している。その責任と任務の重大さを認識しなければならぬ。そのことを確認しながら町民の皆様の付託に答えるため努力して行きます。  
今後とも、広報かみいちが皆様のより身近な議会報に成りますよう、見やすく読みやすい編集にして行きますので、ご意見、ご協力をお願い致します。

勝戸 謙

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ <http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>